



平成武師道

(人間活動学)

『もう一度、振り返ろう』

アフリカに、学校を作るニュースを見た。
まだまだアフリカなど発展途上国では、十分な教育は、行き届いてはいない。
その点、日本に生まれたおかげで、学校教育は嫌でも習わせていただいた。

「何で勉強しなあかんねんやろ」
授業中や、家に帰っての宿題をしている最中なら、誰しもが思ったことだろう。

「あ～、勉強せんでもええ所に行きたいわ」
結局、この考えに行き着くのである。
今から思えば、何て甘えた考えだったことか。
世界では、勉強したくたくてもできない子供たちがいるというのに、温室に育つようになってしまうのだ。
学校がない国は、インフラも十分ではない。
電気も水道も完備していないのだ。
水に関しては、日本やアジアなどは、まだ豊かな国なので、それほど困ることはない。

だが、砂漠の国では水がとても大事なもののなのだ。
私たちの生活では、水道の水を飲まずに、お金を出してまでペットボトルの水を、飲むようになってしまった。
海外旅行に行っても、大体は水を買える。
しかし、砂漠の国ではそうもいかない。
アジアでも、インフラが行き届いていない国では、衛生面はとても悪い。

若い頃、タイにキックボクシングの修行に行った時だ。
ジムには大きな水瓶があって、水道などはない。
だからそこで練習している人たちは、水瓶の水を飲むのである。
私も飲もうと、水瓶を覗いてみた。
そこには、たくさんのボウフラが浮いていたのだ。
どう考えても汚なくて、不衛生である。
私は、飲むのを我慢して、次の日からは、水を買っていく事にした。

まだ水が売っていたから何とかあったが、それこそ売っていなかったら大変であった。
でも、買った水でもお腹を壊してしまい、トイレに駆け込むことになったことを、付け加えておこう。

とにかく日本に生まれて良かった。



あって当たり前は、世界では通用しないのだ。
不景気だ、貧困だ、子供の教育が問題だ。
ストレスが溜まって死にそうだ。
何を言ってますか。
水も電気もあるではないか。
電車もバスもあるし、テレビも映る。
最近のテレビは面白くない。
言いたいことは、分かるが、やはりどこか違うような気がする。
インフラ設備が整い、教育も行き渡り、生活が便利になることは、とても良いことだ。
ただ、文句や愚痴は言わない用にならなければいけない。
やはり日本は世界から見ても、素晴らしい国なのだから。
あって当たり前、これは嫌だ、あれは嫌だ。
物が豊か過ぎるのも考えものだ。

とにかく、日本に生まれて良かった。